

つくばみらい市

みらいをつくらば



Tsukuba Mirai City



みらいをつくるば
つくばみらい市

みらいをつくるば
つくばみらい市

このまちはいま、成長を続けており
みらいにむけてたくさんの可能性にあふれています。

人々はいつも前向きで、
自らでよりよいみらいをつくろうと暮らしており、
そうした人々のエネルギーあふれるまちとして
「みらいをつくるば」と表現しました。

ロゴは、
一人ひとりがみらいを想像するキモチを
指でフォーカスするポーズで表現しています。
色は、太陽のように明るいみらいを
イメージさせるイエローです

あなたもそんなワクワクするみらいを、
このまちでつくってみませんか。



“移・食・住がかなうまち”

全国791都市を対象にした都市力を指標化した成長ランキングで2015年度第一位、
2016年度第二位を獲得した、つくばみらい市。つくばエクスプレスの沿線にあり都心まで40分でアクセス。

自然に囲まれた市内は、ゆとりのある区画整備がなされ暮らしやすい住環境に。
今後さらに発展していく未来あるまちとして、市役所、公共機関、住民が協力しながらまちづくりを行っています。

Contents

- 01. 移 / 快適な移動
- 02. 食 / 豊かな農作物
- 03. 住 / 心地いい暮らし
- 04. まちのみらい予想図

01. 移/快適な移動

快適なアクセスが
魅力です

83.3 %

「都心へのアクセスが良好」と答えた住民
が83.3%。都心まで40分でアクセスできる
つくばエクスプレスの存在は大きいです。



Q. 都心へのアクセスは？

A. 電車も車も都内へ1時間以内に
移動できる好アクセス

日本有数の成長力を誇るつくばみらい市。その原動力となっているのが、つくばエクスプレスや常磐道といった充実した交通網なのです。

つくばみらい市の調査によると、住民の実に83.3%が、「つくばエクスプレスなどがあり、都心へのアクセスが良好」という点を住環境の魅力として挙げています。事実、つくばエクスプレスの乗車数は開業当初から倍以上に増加しており、移住者の多くが路線を利用していることがわかります。また、秋葉原をはじめとした便利な都心の駅まで乗り換えなしの直通運転で、しかも所要時間は40分程度。そのため、通勤や通学の時間を有効活用できるという住民の声もあります。

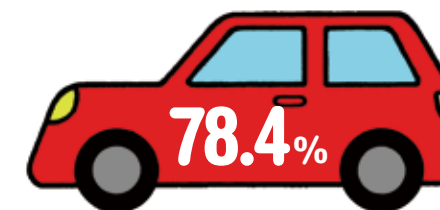
利用者の安全や周辺環境に配慮している点も、つくばエクスプレスの魅力です。たとえば、完全立体交差により、全線を通じて踏切ゼロを実現し、さらにすべての駅に転落防止用のホームドアを設置したことで事故の発生を大幅に減らしています。また、地上のほとんどの区間で高さ2メートルの防音壁を設置し、継ぎ目のないロングレールを可能な限り採用するなど、騒音の低減にも努力。便利だけでなく、安全で環境に優しいところも、住民に支持される理由なのです。

Good Transportation

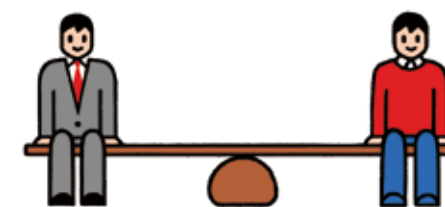
行動範囲を広げてくれる高速道路網

車移動にも好立地。

つくばみらい市は、区画整理がきれいになされ、自動車を使う方にとって利便性の高い環境が整っています。最寄りの谷和原インターチェンジから高速道路に乗れば、都心へも成田空港や羽田空港、茨城空港へもそれぞれ1時間程度。駐車場付きのマイホームも都心と比べると安価で手に入るの、余裕を持ってマイカーライフを満喫できます。



交通の利便性に満足している



仕事とプライベートの両立。

つくばエクスプレスや谷和原インターチェンジを使えば、都心へのアクセスがスムーズにできるので、通勤の面でのストレスがありません。そして、休日などのプライベートな時間でも、近くのショッピングモールや行楽施設に気軽に出かけることができます。仕事もプライベートも両方をサポートしてくれるのがつくばみらい市の交通網です。

People

快適アクセス利用者

通勤につくばエクスプレスを利用しているふたつのファミリーをご紹介します。休日は、常磐道を使って車で各地へ出かけたり、つくばエクスプレスに乗ってショッピングや観光をしたり。利便性に優れた暮らしを楽しんでいます。



DATA

坂本さんファミリー

居住歴：2年

住宅：庭付き一戸建て

勤務地：東京都（ソフトウェア開発）

通勤時間：1時間

趣味：ゴルフ



DATA

田村さんファミリー

居住歴：4年

住宅：マンション

勤務地：東京都（フードサービス）

通勤時間：約1時間10分

趣味：野球観戦

移 / つくばエクスプレス

つくばみらい市と都心をつなぐつくばエクスプレスは、住民の皆さんと共に、さらなる利便性の向上と住みよいまちづくりを目指します。



スピーディーに
東京へアクセス。



つくばエクスプレス
なら都心まで40分で
アクセス。



(左) みらい平駅からつくば駅までの5つの駅を管理する駅務管理所長を務める重森英一さん。つくばエクスプレスの開業時から沿線を見守っています。(右上) みらい平駅は、地下駅でも高架駅でもなく、20駅で唯一掘割の上に建てられた駅で、駅舎の下にホームがあります。(右下) 遠くから見てもわかりやすいグリーンのアーチ型の屋根が、地域のランドマーク。

地域住民の方々と共に つくばエクスプレスは 発展していきます。

私はつくばエクスプレスの開業時から業務に携わっておりますが、開業当初は15万人程度だった1日の利用者数が、現在では約35万人に増え、この12年間でいかに沿線が発展してきたかを実感しております。それに伴い、ラッシュ時の利用

客数の増加も目立つようになりました。そのため、列車の運行本数の増加や、ダイヤ改正、Wi-Fiの完備など、より快適にご利用いただける体制を整えるよう努めております。

つくばエクスプレスの魅力は、何と言っても都心へのアクセスのよさです。つくばみらいから秋葉原まで最速40分、しかも都心駅からの乗り換えも便利です。加

えて強風などにも強く、天候不順での遅れはほとんどありません。スムーズな運行に信頼を寄せていただき、多くの方々に沿線に移住していただいております。つくばエクスプレスは地域の発展と住民の皆様のご協力があって成り立っています。ですから、我々も自治体と連携を取りながら、移住者の方々がより住みやすい環境をつくることを目指しています。

移 / 谷和原インターチェンジ

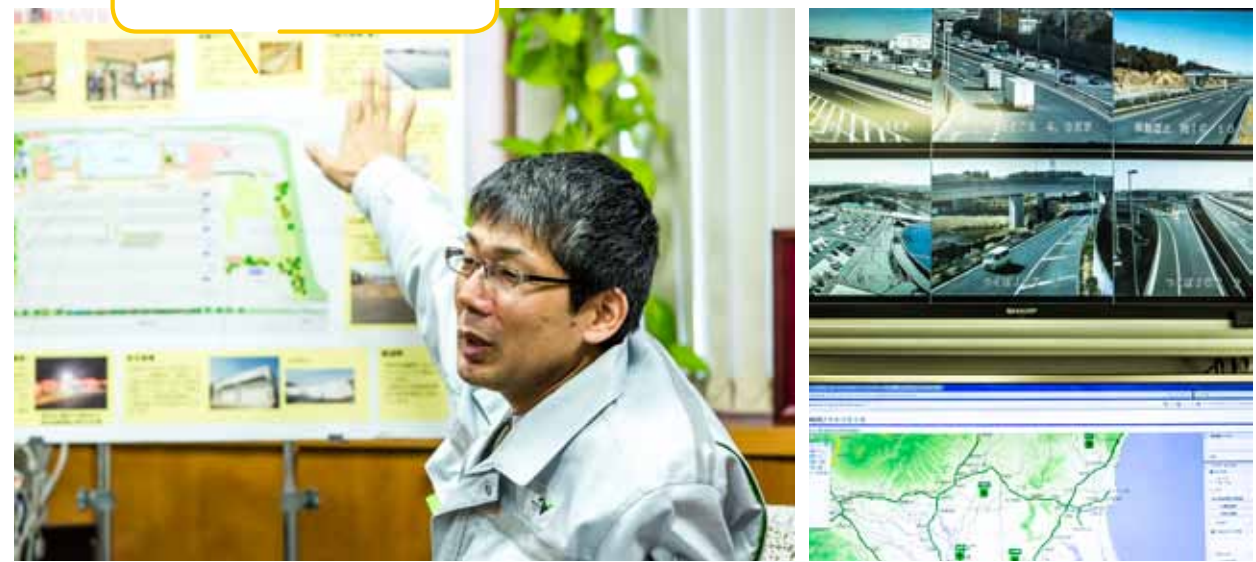
東京と仙台を結ぶ常磐道と成田空港へのアクセスも便利な
圏央道を利用すれば行動範囲が大きく広がります。



移動もラクラク
谷和原インターチェンジ。



高速道路の利便性が
UPしました。



(左上) NEXCO東日本の谷和原管理事務所所長を務める池田隆成さん。(右上) 管理事務所では高速道路の様子をいくつかのディスプレイで確認。トラブルが起きれば早急に対応し、安全でスムーズな通行を確保します。(左下) 大きな板状の装置がついた除雪車。これがあれば雪の日も安心です。(右下) 管理する区域の構造が一目でわかる図表も設置。

高速道路がもっと身近に

つくばみらい市にある谷和原インターチェンジは、都心への通勤やインターチェンジ近郊の工場への通勤、物流のために利用する車両が多く、年間約1000万台が出入りしています。つくばエクスプレスの開通により、目覚ましい発展を遂げているつくばみらい

市ですが、谷和原インターチェンジを利用いただくことで住民の方にさらなる利便性をご提供できると考えています。
たとえば、2015年には、東京と仙台を太平洋側でつなぐ、常磐自動車道が全線開通し、東北方面へのアクセスが向上しました。さらに2017年2月には、成田空港から湘南までを結ぶ圏央道

が開通。茨城空港・羽田空港だけでなく、当インターチェンジから成田空港へのアクセスもよりスピーディーになりました。今後は、3つの空港を使いやすい環境になるので、旅行先や目的に合わせて空港を選んでいただけます。これからも「安全・安心・快適・便利な高速道路サービス」の提供に努めていきます。

VOICE / 通う人。

通勤や買い物につくばエクスプレスを利用する市民が多いつくばみらい市。
常磐道も便利なので、休日は車で出かける楽しさも！

つくばエクスプレスも
常磐道も、
ストレスフリー！



通勤時間

1h

電車も、高速道路も。
交通の利便性に満足。

「つくばエクスプレスのおかげで通勤が便利」と話すのは、みらい平駅近くの戸建住宅に暮らす坂本さんファミリー。ご主人の秀樹さんの勤務先の最寄りはお葉原駅なので、ドア to ドアで1時間ほど。「乗り換えなしで通勤でき、快適です。乗車時間の40分ほどの間は、携帯電話でメールをチェックしたり、座れたときにはノートパソコンで仕事の準備をしたり」と秀樹さん。都心のような超

満員の状態もなく、ストレスはまったく感じないそう。帰宅時も、「空気が澄んでいるから、駅からの帰り道に見上げる星空がきれい。気分が癒されます」。休日は、車に乗って家族でお出かけ。「長女が習っている英語学習のイベントに

参加するのが楽しみです。谷和原インターチェンジから常磐道に乗って、埼玉や千葉、東京へ出かけています」と奥様の末菜さん。秀樹さんも、「趣味のゴルフにも便利」と笑顔。平日は電車、休日は車と、交通の利便性に満足されています。



日曜になったら、
車で出かけようね！



(左) 長女の華音ちゃんは1歳8か月。英語が大好き。(中)「常磐道の谷和原インターチェンジが近いので、関東のゴルフ場にもスムーズにアクセスできます」と、ゴルフが趣味のご夫妻。車のキーホルダーは、つきあい始めた頃に末菜さんが秀樹さんに贈った誕生日プレゼント。(右) 休日に活躍するワンボックスカー。駐車場もゆとりと設計され、奥の2台は2世帯住宅で暮らす両親の車。旅行など成田空港を利用する際も車で空港へ。

休日も家族揃って
つくばエクスプレスで
お出かけ！



通勤時間

1h10m

ほぼ時間通りに
発着する安心感。

田村さんファミリーは、みらい平駅前のマンションにお住まいです。ご主人の洋さんの勤務先は新宿に近い初台駅。ドア to ドアで1時間10分ほどかかりますが、「つくばエクスプレスには踏切がなく、全駅にホームドアが設置されているので、悪天候などによる遅延が少なく、ほぼ時間通りに発着します」と、通勤で利用する確かさを評価します。

休日もつくばエクスプレスに乗り、家族で出かけるそう。「沿線にあるショッピングセンターで買い物をしたり、東京

スカイツリーや上野動物園に出かけたり。息子の陽が喜びそうなところへ行きます」と奥様の歩さん。「みらい平さくら公園からつくばエクスプレスに手を振ったらミュージックホーンを鳴らしてくれて。それ以来、陽はつくばエクスプレスが大好きになりました」と笑顔で話す。

歩さんは陽くんとよく公園に行くそうですが、「新しい道路は歩道が広いのでベビーカーが押しやすく、車道から子どもの存在が認知されやすいです」と、歩道の歩きやすさに安心感を抱いていました。

(左) 陽くんのプラレール。おばあさんに買ってもらったつくばエクスプレスの車両で遊ぶのが大好き！住まいの近くにある公園に出かけるのも好き。それぞれに特徴があり、その日の気分で選べるそう。「都心では大変だと聞く子どもの自転車の練習もできます」と歩さん。(中) 洋さんのバスモ。休日はつくばエクスプレス経由で家族で楽しめる都心スロットへ。(右) 子どもの頃は野球少年だった洋さん。玄関脇の戸棚にはサインボールなど野球グッズが飾られています。



都心への通勤も、
つくばエクスプレスで便利！



02. 食 / 豊かな農作物



農業が盛んで
食べ物が豊富

80.4
%

「地元産の農産物を直売所やスーパーで買える」と答えた市民は80.4%も！ 食べ物の環境がとても豊かなのです。

Q. 地元の食べ物はおいしい？

A. はい。地元が産地だからおいしいのです。

つくばみらい市の気候や風土に合ったローカルフードがつくられています。

「顔が見える農産物」で人気の直売所に並ぶ旬の野菜や米をどうぞ！

つくばみらい市は農業が盛ん。トマト、ほうれん草、巨峰、米などがつくられ、おいしいと評判です。なかでもトマトが人気で、大玉、中玉、ミニと、大きさや品種もさまざまなトマトがつくられています。また、つくばみらい市は県内でも有数の米どころでもあります。小貝川沿いの水田地帯を中心に、コシヒカリやゆめひたちといったブランド米が栽培されています。地元で穫れた農産物を家庭や学校給食の食材として活用する「地産地消」にも取り組み、直売所では生産者の

「顔が見える農産物」も販売。店員に尋ねれば、旬の野菜のおしさや料理方法を教えてくれるなど、コミュニケーションを楽しみながら農産物を買える場所として市民に利用されています。多くの野菜のおしさを決めるポイントは、鮮度。収穫後、時間が経つと、せっかく蓄えた甘みや酸味が消耗され、味や栄養価が落ちてしまうのです。つまり、生産地が近く、採れたての野菜や果物が買えるまちほど、食事がおいしいということ。つくばみらい市は、そんな“おいしいまち”なのです。

People

トマト農家の野口さん

『野口ファーム』でトマトを栽培する野口嘉徳さん。直売所にも卸している大玉トマトやプチぶよというミニトマトが人気です。つくばみらい市でトマトをつくる楽しさは、「お客様との距離が近いこと」。



市内の野菜は、おいしいですよ！

DATA

野口嘉徳 さん

農家歴：12年

農地面積：350平米

ハウス：3棟

栽培しているトマトの種類：5種

卸先：JA直売所、スーパー

Local Food

つくばみらい市のおいしい農産物たち。



トマト

「まっ赤なトマトっ娘」という名で出荷されるトマトは、環境保全型農業に取り組む「エコファーマー」(*)が栽培。収穫時期は10～6月頃。



切りミツバ

50年ほど前から栽培されているつくばみらい市の切りミツバ。香り高く、姿が美しいので、高級食材として料亭などでも使用されています。

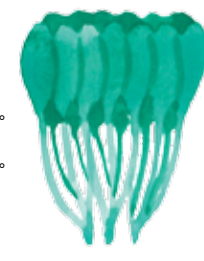
巨峰

つくばみらい市は40年以上前から巨峰の名産地。鬼怒川、小貝川沿いの肥沃な土地で育った巨峰は粒が大きく、甘くてジューシーです。最盛期は9～10月頃。



サラダ ほうレンソウ

水耕栽培で育てられるサラダほうレンソウ。生のままでもおいしく食べられると評判です。サラダやおひたしといったシンプルな“時短料理”としても人気。



米

小貝川沿いは、「谷原三万石」でも知られる稲作地帯。コシヒカリやゆめひたちなど、変わらないおいしさを守り続けています。



(*) エコファーマーとは、茨城県持続性の高い農業生産方式導入指針に基づき、持続性の高い農業生産方式を導入する計画を立て、茨城県知事の認定を受けた農業者です。認定計画に基づいた農産物にエコファーマーマークを付しています。

食 / 生産農家（野口ファーム）

野菜の美味しさは“産地からの近さ”も大きなポイント。
その理由を、『野口ファーム』の野口さんが語ります！



もぎ採ったばかりの赤いトマトを
食べられるのは市民の特権！

『野口ファーム』の野口嘉徳さんは、トマト一筋12年のトマト農家。「東京の市場に出荷するときは、店頭でトマトが赤く色づくように、まだ熟していない状態で出荷しますが、市内の直売所に出すときは、畑から近いのでトマトが樹上で赤く

熟してからもぎ採ることができます。だから、新鮮でおいしいのです。ぜひ、市内の方に食べていただきたいですね」と、真っ赤に熟したフルティカというトマトを抱えながら笑顔で話します。

また、最近は甘いだけでなく皮の薄いトマトが人気のようです。「私の子どもが通う保育園のママ友や、直売所のお客様から、『皮が薄いトマトはないの？』と

いう要望を聞き、プチぶよというサクランボのような食感が楽しめる新品種のトマトの栽培も始めました」と野口さん。消費者の声が生産者に届くという関係の近さも、つくばみらい市だからこそ。

農家の高齢化が全国的な課題となるなか、意欲を持った若い新規就農者も増えているこのまちで、野菜や米などヘルシーで豊かな食生活が送れそうです。

トマト栽培は
手入れが肝心。



真っ赤に熟れた
プチぶよをどうぞ！



上ノ市内での主な出荷先は農産物直売所とスーパー。「つくばエクスプレスが開通したおかげで、つくばみらい市に若いご家族が多く移住され、市産のトマトをたくさん買ってくださいようになりました」と喜ぶ野口さん。「つくばみらい市が“トマトの産地”になるよう頑張ります」と意気込みます。中ノ父親から譲り受けたビニールハウスでトマトを育てる野口さん。下ノ人気のプチぶよ。少量生産のため、ほとんどが市内でしか販売されない希少なトマト。

生産者が直接、農産物を運んでくる直売所。
新鮮野菜を味わえる喜びは地元ならでは！

農産物直売所 みらいっ娘



甘いトマトが
おすすめです！



好きな生産者を選んで購入。
買い物&料理上手に！

JA茨城みなみが運営する農産物直売所。野菜、米、加工品など日常的な食品を販売しています。朝、生産者が収穫したばかりの新鮮な農産物を搬入し、店頭に並べ、値段をつけます。商品ラベルに生産者の名前が書かれているので、自分好みの生産者の農産物を選んで購入する楽しさ。「人気の生産者さんの野菜は、予約されるお客様もいらっしゃるほど」と職員の坂東尚輝さん。旬の野菜も豊富で、声をかければ料理方法も教えてくれるので、買い物&料理上手になれるそうです。市が認証する特産品「みらいプレミアム」も販売しています。

つくばみらい市上小目223-2
tel:0297-52-2020
9:30~18:00 (11月~1月は17:30まで、水曜・年末年始休)

ほっとやわら農産物直売所



市内の保育園にも食材を卸す、
新鮮で安い正直な直売所。

住宅街のなかにある家庭料理レストランに併設された、アットホームな雰囲気の直売所。市内産の米や野菜を販売しながら、市内8か所の保育園に給食用の食材も卸しています。「少々見た目が良くない野菜も、正直な味わいと値段でご提供しています」と、社長の今川和宏さんは笑顔で話します。

つくばみらい市網の台2-14-2
tel:0297-52-6330
9:30~18:00 (月曜休)



03. 住 / 心地いい暮らし



憧れの住まいが
手に入る

71.6
%

「都心までの所要時間のわりに不動産や家賃が安く、暮らしやすい」という回答が71.6%も得られました。広い庭のある戸建て住宅に暮らす夢もかかないそうです。

Q. どんな暮らしができるの？

A. 住まいの環境が豊かだと、家族の心も豊かに！

広い庭で犬と一緒に遊んだり、市民農園でおいしい野菜を育てたり。
自然を感じる健やかな毎日を、家族とともに過ごせます。

広々とした庭のある戸建て住宅に暮らすのは、多くの家族の夢。可愛い犬を飼ったり、ガーデニングを楽しんだり、ブランコに乗ったり、暖炉のあるリビングをつくったり。そんな夢を実現できるのも、つくばみらい市の住環境ならではの。都心に比べると不動産や家賃が安いぶん、暮らしや趣味にお金をかけることもできます。子どもたちも、のびのびと元気に駆け回ることができるでしょう。

市も、家族の生活をさまざまな事業でサポートしています。たとえば、0歳

から18歳の年度末までの子どもが対象の小児医療福祉制度（通称、マル福）は、外来診療や入院診療の自己負担分の一部が公費から助成されます。また、みらい平地区には、公立・私立あわせて8か所の保育施設があり、子育て世代をバックアップ。新しく陽光台小学校も開校し、平成30年4月には富士見ヶ丘小学校も開校予定です。

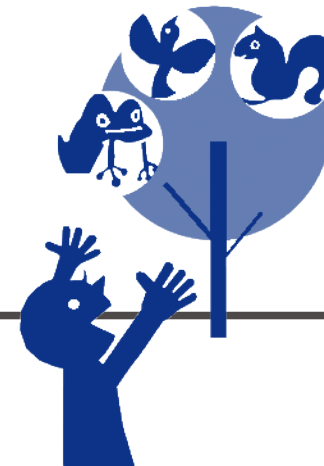
家族みんなが安心して楽しく暮らすことができ、趣味やスポーツにも夢中になれる…そんな、家族と一緒に過ごす時間を大切にできるまちなのです。

Enjoy the Nature

自然を身近に感じながら暮らせるまち。

広々とした公園で遊べる。

生活を充実させる機能を備えながら、自然の豊かさを感じられるつくばみらい市。「空気がきれい」「緑や風が心地いい」という声も多く聞かれます。自然豊かな環境を活かして整備されたみらいの森公園をはじめ、みらい平地区には大小14か所の公園や自転車歩行者専用道路があり、子どもたちが元気に遊ぶ姿が見られます。



家庭菜園やガーデニングが楽しめる。

「広い庭で何をしよう？」と夢が広がる戸建て住宅。都心で働きながら自然と共存した生活を送ることができ、住環境にもゆとりがあるので、家庭菜園やガーデニングを楽しむ家族も。土と親しみ、花や野菜を育てることで、四季の移ろいを身近に感じることができ、子どもたちの心も豊かに育んでくれそうです。

People

庭や農園を楽しむ家族

庭のある戸建て住宅で大きな犬と一緒に暮らしたり、駅前の眺望の素敵なマンションに住みながら、市民農園を借りて家族みんなで野菜づくりを楽しんだり。それぞれの家族の豊かな毎日をご紹介します。



DATA

長嶋さんファミリー

居住歴：3年
住宅：庭付き戸建て
勤務地：東京都（ソフトウェア開発）
通勤時間：1時間半
趣味：ロードレース



DATA

松山さんファミリー

居住歴：8年
住宅：マンション
勤務地：つくば市（工場勤務）
通勤時間：30分
趣味：野菜づくり

VOICE / 暮らす人。

都会でありながら豊かな田園風景が広がるつくばみらい市。
市民農園を借りて、自然を感じる暮らしをエンジョイ！

育てた野菜を、
家族の食卓へ！



カブトムシも
近くで採れる！



左／農作業のための道具を持って、車で5分ほどの畑へ。右上／みらい平駅の近くに立つ都的な高層マンションの上層階に暮らす松山さん宅からは、晴れた日には富士山も見えるほど
素敵な眺望が広がります。右下／楓生くんと航大くんも畑を耕したり、収穫を手伝ったり。高層マンションに暮らしながら土とふれあえる環境のもと、心豊かに育っています。

市民農園で子どもと野菜を収穫！ ナチュラルな暮らしを満喫。

みらい平駅前のマンションにお住まいの松山さんファミリー。以前、ご主人の真也さんは埼玉県春日部市に、奥様の満波さんは神奈川県横浜市に住んでいましたが、「子育てのことを考えたら、自然環境に恵まれ、発展する“伸びしろ”のある

まちに住みたい」と、結婚を機につくばみらい市へ移住しました。

長男・楓生くんの小学校と次男・航大くんの保育園は、「自転車で5分ほどなので、送り迎えが便利です」と満波さん。休日はみらいの森公園に出かけ、親子でトンボやザリガニを追いかけて遊ぶのも楽しみだそうです。

また、ご家族は住まいの近くに市民農

園を借りています。もともとは、ハーブコーディネーターの資格を持つ満波さんがハーブを育てたいと思って借りた畑で、今は年間10数種類もの野菜を栽培。「子どもたちには土にふれるいい機会になっています」と真也さん。家族みんなで収穫した野菜は、満波さんが腕をふるって料理するなど、ヘルシーでナチュラルな暮らしを満喫しています。

03. 住 / 心地いい暮らし

休日は家族で
朝から農作業。



理想の
子育て環境です。



VOICE / 暮らす人。

ゆとりある“住環境”も市の魅力。
長嶋さんファミリーに、その魅力を聞いてみました。

広々とした家で
みんな満足です。



大きな公園も
たくさん！

(右上) 敷地に余裕があるから隣家との距離も確保されていて、長男の悠一郎君も満足そう。(下左) ご主人の一範さんの趣味はロードレース。「道が広いので自転車も走りやすいですね。守谷駅まで自転車で通勤することもあります」(下右) 自宅の徒歩圏内にたくさん公園があるのも引っ越してきた理由のひとつ。



余裕がある家づくりで、 のびのびとした暮らしを！

みらい平駅から徒歩10分ほどの戸建住宅に暮らす長嶋さん家族。3年前に千葉県市川市から引っ越してきたが、その理由は？ 「都内への通勤のために始発駅に近い場所というのが第一条件でした」とご主人の一範さん。候補地には近隣の

市町村も上ってはいしたが、つくばみらい市を訪れた際に明るく開けた印象を受けたのだとか。さらに大きな決め手になったのが家の広さだった。「土地の値段もある程度抑えられたので、広い敷地面積を確保できました」。「主人は狭い家が嫌いで、平屋建築に住みたいというこだわりがあったので、理想の場所でした」と話してくれたのは、奥さんの裕子さん。

「それに家を建てるんだったら犬を飼いたくて。主人は大型犬でないとダメなので(笑)」。新居を構えると同時にレトリバーのあずきちゃんも家族の一員に。ほどなくして長男の悠一郎君も誕生した。休日は、みんなで近所の公園を散歩するのが楽しみだとか。「子どもや犬を通じて知り合いも増えました」と、満足げに笑うご夫妻でした。

住民がピックアップ 福祉・教育のポイント。

つくばみらい市は、高齢者から子育て世代まで、さまざまな人にとって、住み良いまちであるために福祉や教育関連の“みらい”をつくっています。今後も住民の声を取り入れ、さらに拡充していく予定です。

1 妊婦一般健康診査 費用の助成 回数拡充。

出産まで安心して健康診査を受けていただくこと及び経済的負担の軽減を目的に、妊婦一般健康診査費用の助成回数を拡充。妊娠40週以降～出産までの健康診査も対象となります。

2 小児医療福祉 制度の対象を 拡大。

小学校6年生までの方を対象とする小児医療福祉制度の対象を拡大。外来診療は中学校を卒業するまで、入院診療は18歳の年度末までの診療が対象となります。

3 子育てガイド 「みらいっ子」の 発行。

妊娠期から子育て期に至るまでの、さまざまなライフステージに応じた行政サービス、制度内容や外出時の安心マップなどを盛り込んだ「子育てガイドブック～みらいっ子～」を発行。

4 小学校が 続々開校。

人口増加に伴い、平成35年には、みらい平地区児童が最大1,651人となることが推測されます。地区内児童の教育拡充に向けて、平成30年4月に富士見ヶ丘小学校を開校予定です。

5 三世代同居・近居 住宅支援事業の 実施。

つくばみらい市内で新たに三世代を形成する家族に対し、住宅の新築・購入・増改築・リフォームに必要な費用の一部など、一定の条件のもと助成金を交付しています。